

名張市社会福祉協議会 令和3年度 資金収支決算書

(自)令和3年 4月1日(至)令和4年 3月31日 (単位:千円)  
※四捨五入

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	6,329
	分担金収入	1,007
	寄附金収入	1,052
	経常経費補助金収入	99,331
	受託金収入	133,872
	貸付事業収入	882
	事業収入	7,640
	介護保険事業収入	94,782
	保育事業収入	132,123
	経常経費寄附金収入	37
	受取利息配当金収入	11
	その他の収入	2,745
	事業活動収入計(1)	479,810
支出		
人件費支出	345,363	
事業費支出	94,068	
事務費支出	21,248	
貸付事業支出	770	
共同募金配分金事業費	3,023	
分担金支出	5	
助成金支出	10,893	
負担金支出	243	
その他の支出	58	
流動資産評価損等による資金減少額	30	
事業活動支出計(2)	475,701	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,109	
施設整備等資金収支差額(4)	△6,919	
その他の活動資金収支差額(5)	3,140	
当期資金収支差額合計(6)=(3)+(4)+(5)	330	
前期末支払資金残高(7)	103,887	
当期末支払資金残高(6)+(7)	104,217	

## 「事務局長の経験生かし」地域福祉の推進に

# 新会長が就任



杉本丈夫 会長

### 会長就任の挨拶

市民の皆さまには、日頃より名張市社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、令和4年6月21日に開催された理事會において、当協議会会長の要職を拝命いたしました。

当協議会は昭和47年5月に創立し、本年で創立50周年を迎えます。

これもひとえに皆さまのご支援とご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。

この記念すべき年に会長という重責に就き、身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、これまでの当協議会事務局長としての経験を生かして、

年々増大してまいります。加えて新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、生活様式が大きく変化し、コロナとの共生社会を考へていかなければなりません。

当協議会は、高齢者や障がいのある人、子育て中の親など支援が必要な人々

に對し、「だれもが住み慣れたまちで安心して自分らしく暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、これまでの取組みを更に充実・発展させるために活動しております。

当協議会の事業は、市民の皆さまをはじめ、地域づくり組織、民生委員・児童委員、ボランティア団体や福祉関係団体など、多くの皆さまに支えられておりますので、今後とも更なるご支援とご協力を切にお願い申し上げます。



## 缶バッジガチャ設置 共同募金の新しい取組み



名張市共同募金委員では、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるよう、名張市の公認キャラクター「なばりん」並びに「ひやわん」とコラボした缶バッジガチャを設置いたしました。

缶バッジは気軽に募金していただけるようにガチャマシンに入れ、名張市総合福祉センターふれあい2階、イオン名張店3階の福祉まちづくりセンターに設置してあります。なお、このガチャは1回200円で、その全額が赤い羽根共同募金への寄附となります。ご協力よろしくお願いします。



- 地域福祉課**では、名張市災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いました。
- 暮らしあんしんセンター**では、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に苦しい状況に陥った相談者に対し「緊急食糧支援」や「住居確保給付金」などの支援に繋がりました。
- 昭和保育園**では、子どもたちが安全に過ごせるように、遊具修繕など環境整備を行いました。
- 在宅福祉サービス・老人福祉センター**では、コロナ禍でも十分なサービス提供ができるよう「感染しない・持ち込まない・感染させない」ことを強く意識し業務に取り組みしました。

### 災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いました

令和3年12月5日、災害発生時における災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に向けての訓練を総合福祉センターふれあいにて実施しました。

当日は、名張市ボランティアセンターに登録いただいている災害ボランティアや災害ボランティアセンター運営委員など70名が参加し、新型コロナウイルス感染症を考慮した内容で行いました。



生時から72時間以内

に災害ボランティアセンターが設置されたことを想定しました。

全体の流れ確認

被災者のニーズ受付やボランティア受付、ニーズとボランティアをつなぐマッチング、ボランティアの地理案内をする送り出し送迎、資器材の管理・受け渡しをする物資管理、新型コロナウイルス感染症対策や衛生管理をする安全衛生管理、総務、広報など8班に分かれて全体の流れを確認しました。

参加者からは「いつ災害が起きるかわからないのでこれから定期的に訓練をしてほしい」「災害ボランティアセンター運営の流れが理解できた」などたくさん意見が聞かれました。

今後、関係機関・団体と連携を図り、訓練参加者の意見や訓練での気づきを活かして定期的に研修会や訓練を実施していきます。

## 令和3年度 事業報告

ともに生きる豊かな「なばり」に向け

# 昭和保育園

名張市丸之内67-10  
 ■マイ保育ステーション  
 ■保育園 ☎63-1767



## タマネギ・ジャガイモでできたよ〜

昨年11月に黄・赤タマネギを植えまじりにおいやく〜ひした。「大きくなれ！」とタマネギに声を掛けながら、水をあげたり、草を抜いたりして生長を楽しみました。6月に入りジャガイモの収穫も出来ました。土の中からゴロゴロ出てく

## 収穫したジャガイモで重さ比べをしたよ!



# 通所介護 ふれあい

一日体験・施設見学のご案内

お気軽にお問い合わせください

☎63-1207



### ふれあいの体験利用について

ふれあいデイサービスでは、ご自身に合ったサービスをお選びいただくために、体験利用を実施しています。

- お一人様 1回限りとなります。
- 要支援・要介護認定を受けておられる方が対象です。
- 体験時の入浴・機能訓練は見学のみとさせていただきます。
- 送迎はご家族様でお願いいたします。
- 費用は食費のみ実費が必要となります。
- ご利用には、事前申し込みが必要となります。
- お申込みの際に、介護上の必要な情報を確認させていただきます。
- 見学のみのご利用も可能です。



機能訓練

創作活動



介助浴室

機械浴室

### 体験利用(1日の流れ)

- 10:00~ 看護師による健康状態の確認
- 10:30~ 創作活動
- 12:00~ 口腔体操
- 12:15~ 昼食
- 13:45~ レクリエーション
- 14:30~ おやつ
- 15:30~ 体操

コロナ禍での実施になりますので、ご利用ご希望時は、左記にお問い合わせください。お待ちしております。



## 脳トレ楽習教室 楽しく「頭の体操」

福祉まちづくりセンターで



### ゲーム感覚で楽しく脳を活性化しましょう!

簡単な計算やパズルなどのプリントを使って、楽しく「頭の体操」をしませんか?

脳の機能は加齢とともに低下しますが、毎日積極的に脳を使う習慣をつける

ことにより、脳の機能の低下を防ぐことができます。日々

目指しましょう!

つて脳が活性化すると、体も心もぐんぐん若返ります。頭の体操の後には仲間たちと「バリバリ体操」や愉快な「おしゃべり」で頭も体もリフレッシュ!

脳トレ楽習教室では、脳年齢を若返らせるだけでなく、コミュニケーションを楽しむ場も作れますよ。

申し込み不要でどなたでも参加していただけます。ぜひ、あなたも頭の方を動かして、真の健康を目指しましょう!



開催日: 毎月第2・第4水曜日(都合により変更する場合があります)  
 時間: 午前10時30分から11時30分  
 場所: イオン名張店3階福祉まちづくりセンター  
 参加費: 55円(コピー代)



お問い合わせ: 「福祉まちづくりセンター」 ☎62-73388  
 午前10時から午後7時まで(木曜定休日)

★各回開始時間までにお越しください。お待ちしております。



野菜作り

壁画作り



マスク作り

昼食

### 社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 通所介護事業所「ふれあい」

〒518-0718 三重県名張市丸之内79番地  
 担当 (久保・松井・中川・松本)

TEL:63-1207 FAX:64-3349

## 職員募集

地域福祉課

◆業務スタッフ(臨時)  
 【時給】920円

◆業務資格 普通自動車運転免許  
 ★相談支援 貸付事務等  
 経験者歓迎

昭和保育園

◆調理員(臨時)  
 【時給】930円

◆応募資格 調理師免許

◆調理員(登録)  
 【時給】920円~930円

◆応募資格 なし

★調理師免許あれば尚可

※業務内容、勤務時間等詳しくはホームページをご覧ください。左記までお問い合わせください。

【問い合わせ】総務係 ☎41-0780 (平日午後5時15分まで)

ありがとうございました

令和4年5月1日~令和4年6月30日までにご寄附いただいた方

### 善意銀行

▼特定非営利活動法人生活支援グループ  
 こんには会員一同 20万円

▼匿名 1万円

▼川名よう子  
 チャリティショー  
 3万799円



次号は9月24日を予定しています  
 「ほほえみ」の発行とマークの事業には赤い羽根共同募金配分金の一部を活用しています。